

2021/4/23 (金)
インターネット世界旅行

ポーランド ワルシャワの巻



[はじめての旅行の前にチェック【ワルシャワ観光ガイド】 | 海外旅行のSTW \(stworld.jp\)](#)

この資料は、インターネット上の情報を利用して作成しました。

吉岡 芳夫

ポーランド

主要都市 [編集]

—	都市	県	人口
1	ワルシャワ	マゾフシェ県	1,710,055
2	クラクフ	マウオポルスカ県	754,624
3	ウッチ	ウッチ県	747,152
4	ヴロツワフ	ドルヌィ・シロンスク県	633,000
5	ポズナン	ヴィエルコポルスカ県	556,022

- ・ ヴィエリチカ岩塩坑、アウシュビッツ強制収容所などに代表される**14**の世界遺産が点在するポーランドは、訪れる街によって様々な顔を持ち、旅先で色々な体験・経験ができる国です。

- ・ 発展を続ける首都ワルシャワ、昔からの面影を残す歴史都市クラクフ、小人が住む街ヴロツワフなど個性豊かな観光地が旅先で待っています。

- ・ **2016年1月**からはLOTポーランド航空が日本から就航し、ますます身近になります。

ワルシャワとは

- 「北のパリ」「音楽の都」とも言われる中欧ヨーロッパ、ポーランドの首都ワルシャワ。
- **1980年**に世界遺産に登録されたワルシャワ歴史地区は、実は第二次世界大戦のドイツ軍の空襲によりほぼ壊滅的になった町。
- 古く見える現在の旧市街は、戦後ポーランド人の努力により過去の町を絵や写真そして記憶をもとに復元されたもの。
- 今では、世界遺産になっています。



目次

1. 旧王宮
2. 聖十字架教会
3. ショパン博物館
4. バルバカン砦
5. 旧市街市場広場
6. ワルシャワ蜂起記念碑
7. ワジェンキ公園
8. 文化科学宮殿
9. ヴィラヌフ宮殿
10. ポーランド・ユダヤ人歴史博物館



聖十字架教会 - Google マップ



ショパンの心臓がある柱

ワルシャワの中心地にある「聖十字架教会」、正面入り口には十字架を背負ったキリスト像がある。

教会に入って左側、手前の柱の中にある“ショパンの心臓”。

遺体はフランス、パリにありますが、心臓があるのはポーランド、ワルシャワ。

祖国をこよなく愛しながらも、ロシアなど列強の支配下にあった祖国への帰国は叶わず。せめて心臓だけは祖国に埋葬してほしいというのが、ショパンの生前からの願いでした。

彼の最期を看取った姉は、決死の覚悟で“ショパンの心臓”をドレスの下に隠して国境を越えたとか。

ショパン博物館

ショパンはポーランドの音楽家。
ぜひ訪れてほしい場所はショパン博物館。

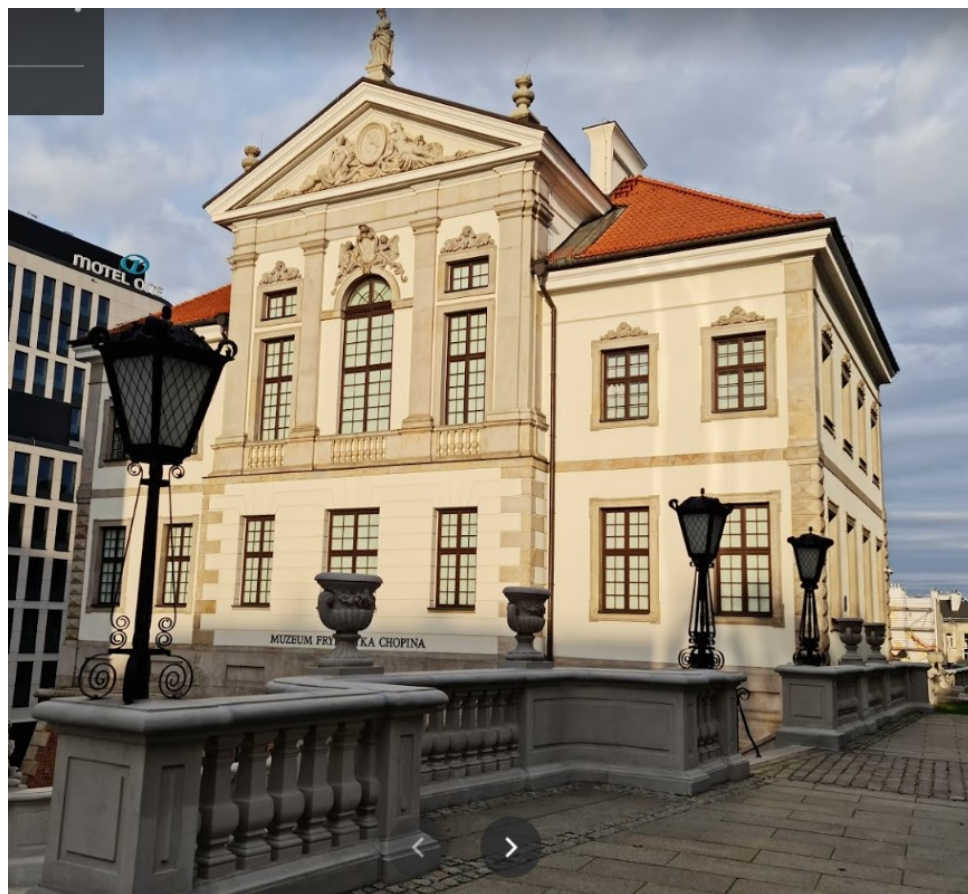
博物館の外観は中世のイメージ。
しかしの内部は現代のテクノロジーを駆使した見せ方になっている。

もちろんショパンの生い立ちから最後には本物のデスマスクならぬデスハンドまであり、地下の音楽が聴けるスペースでは、ゆっくりとショパンの音楽を味わうことができる。

ショパンは、小人数での演奏会が好きだった



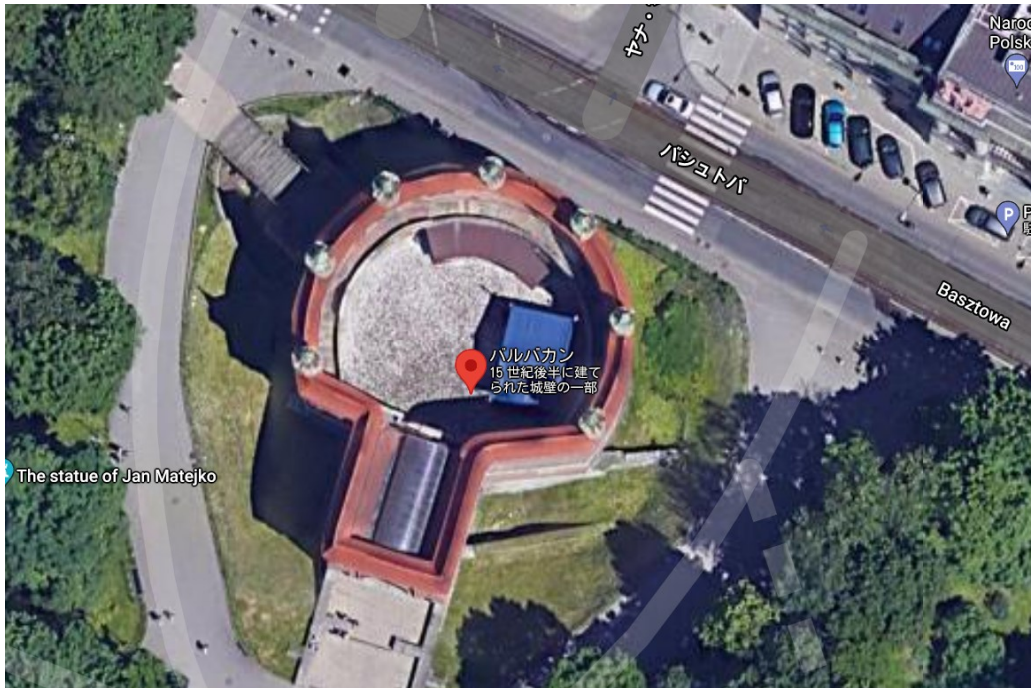
フレデリック・ショパン博物館 - Google マップ



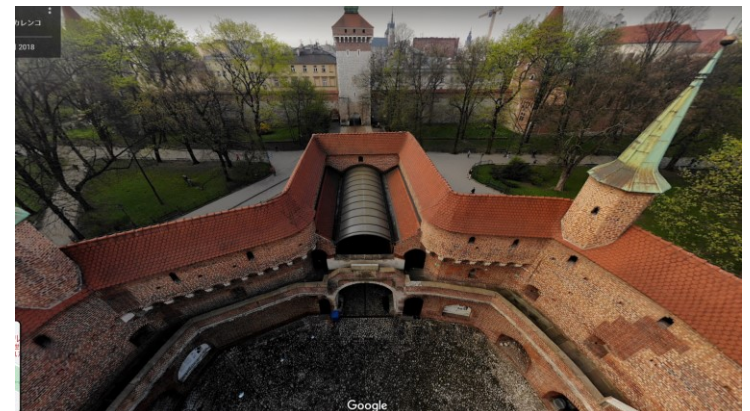
上の建物にはピアノを弾くショパンの姿とその関係者が描かれた何ともユニークな作品。

バルバカン砦

[created by dji camera - Google マップ](#)



バルバカンは、16世紀中頃、旧市街を囲む市壁を強化するために建設された。旧市街を囲む市壁に付随しているバルバカンは、バロック様式の砦で、馬蹄形をしている。馬蹄形の砦は大変珍しく、ヨーロッパでもワルシャワのバルバカンを含め、3つしか現存していないようだ。



ワルシャワ, マゾフシェ県 - Google マップ

ここから、旧市街を散歩しましょう。



ワルシャワの中心地にある旧市場広場は人々の復興への願いを最も感じることができる場所。カラフルで華やかな家々が周囲を囲み、観光客人気の広場となっています。また、広場の中心にはワルシャワのシンボルである人魚の像がある。



ワルシャワの中心地にある旧市場広場

[Łazienki Park - Google マップ](#)

ワジェンキ公園



週末のデートやワルシャワ市民の憩い
のための場所。

この公園と宮殿の複合施設は、
落ち着いた緑地と絢爛豪華な水
上宮殿が有名です。

公園の中心地は、もとは17世紀
にスタニスワフ・ヘラクレ
シュ・ルボミルスキのために建
てられた個人用の浴場でした。

その後、1772年に正式にプライ
ベート・ガーデンとなり、現在
では宮殿、彫像、パビリオン、
カフェ、池とその島にアンフィ
シアターがあります。

ショパンのモニュメントを鑑賞
するもよし、水上宮殿の前でた
たずむのもよし、芝生に横に
なってポーランドの公園の休日
を楽しむもよし。あまりに快適
で、きっと“ずっとここにいた
い”と思うにちがいありません。

文化科学宮殿

- 文化科学宮殿の建設は**1952年**に開始され、**1955年**に完成した。
- スターリンによって、ソビエト連邦からのポーランド人民への贈り物としてワルシャワ市内に建設された。
- 文化科学宮殿はソビエト当局によって設計され、ほぼ全工程に渡ってソビエト連邦から派遣された**3500人**の労働者によって建設された。
- 文化科学宮殿の建築様式は、同時期にソ連国内に多数建設されたスターリン様式（またはスターリン・アンピール、スターリン・ゴシック様式とも）の摩天楼と同様のデザインである。
- 特に最もデザインの類似点が多いとされるのが、モスクワ大学本館である。しかし、主任設計士であった建築家レフ・ルドネフは、文化科学宮殿建造に当たり、ポーランドの伝統的な建築様式を部分的に取り入れた。
- 記念碑を埋め込んだ壁には、ポーランドの古都クラクフとザモシチにあるルネサンス様式の宮殿に範を採った石柱などが見られる。



ヴィラヌフ宮殿 - Google マップ



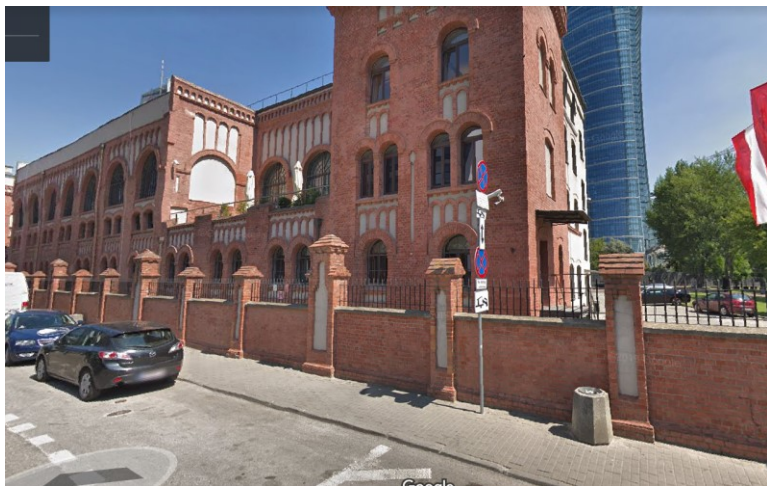
ヤン3世ソビエスキの夏の宮殿として17世紀に建築された。

現存するものは18世紀に拡大されたもので、イタリア人建築家による建造物。

宮殿には、ヤン3世が集めた家具、時計、中国陶器、肖像画などの美術品の数々が残されている。

宮殿を取り囲む庭園もすばらしく、パリ郊外のヴェルサイユ宮殿にも似た美しい庭園である。

ワルシャワ蜂起博物館



戦時下のワルシャワで、ドイツ軍による占領からこの街を解放するために戦った国内軍の歴史を知ることができる壮大な博物館。

第二次世界大戦中にワルシャワで戦禍により生じた街の被害と失われた人命はあまりに甚大で理解しつくすのは容易ではないが、ワルシャワ蜂起博物館は当時の様子を生き生きとよみがえらせます。

ワルシャワ蜂起の発端から最終的な鎮圧まで、膨大な展示品がこの悲劇的な出来事について物語っています。

ナチス占領下のワルシャワ市民の生活はどのようなものだったのか、そしてが圧倒的に不利な状況にも関わらず、いかにこの街のために **63** 日間戦い続けたのかを知ることができます。

最終的にポーランドが降伏すると、ドイツ軍は報復としてワルシャワ市を徹底的に破壊し、生き残った市民を全員強制退去させました。その多くは二度とこの地を踏むことはなかったのです。

[POLIN Museum of the History of Polish Jews - Google マップ](#)

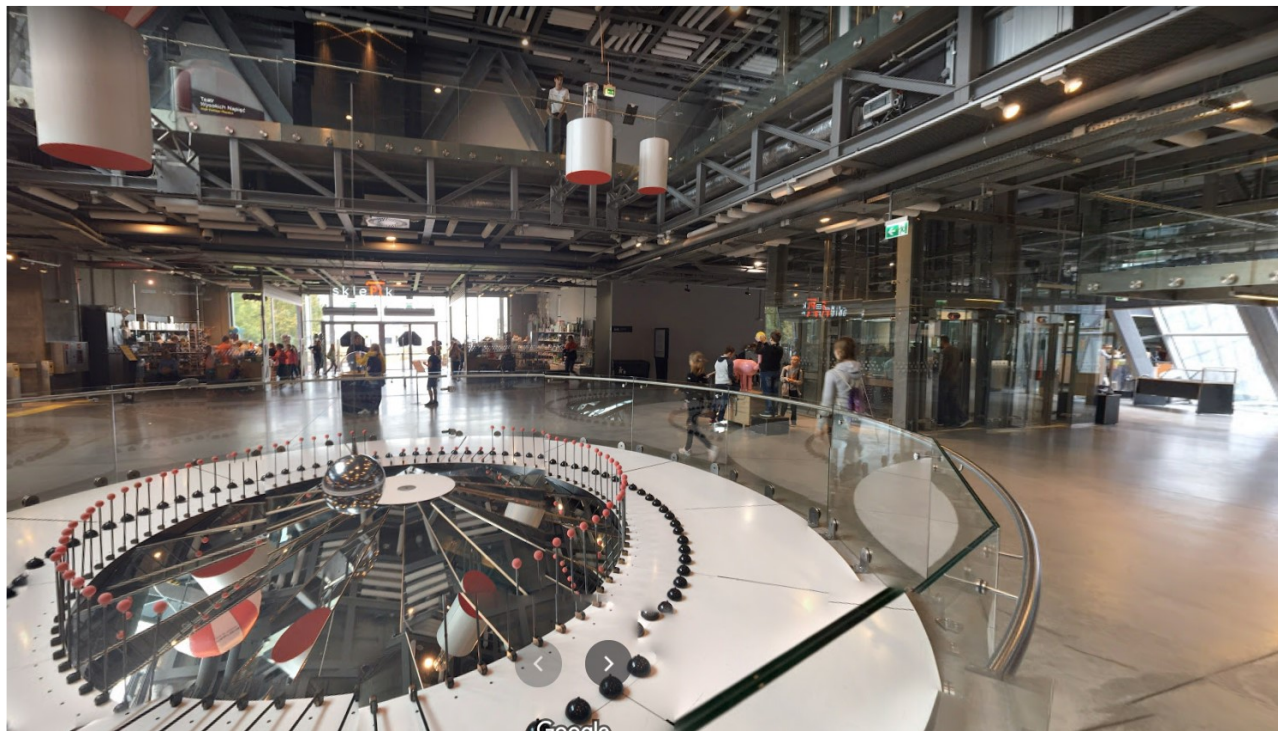
ユダヤ人の歴史博物館



ポーランドには中世から多くのユダヤ人が住んでいたが、ここは現代に至るその**1000年**のポーランド系ユダヤ人の歴史を展示した博物館で、**2013年**にオープンした。

ユダヤ人やユダヤ教に関する展示はもちろん、ナチスによるユダヤ人迫害についても詳しく解説してある。

コペルニクス科学センター - Google マップ



来館者が自分で実験を行ったり、科学の法則を発見したりできる450を超える体験型展示によって構成されている。

科学センターは、ポーランド最大の科学展示施設であり、ヨーロッパにおいても最新のものの1つである。

2012年9月25日、センターは200万人目の来館者を迎えた。

[ワルシャワ国立美術館 - ワルシャ - Arrivalguides.com](http://www.arrivalguides.com)

